

論 説

台風15号の直撃で首都圏は混乱した。中でも千葉県では長期にわたる停電が人々の暮らしに影響し、その暮らしをなんとか支えようと懸命の努力を続けたSSの姿が印象に残る。たび重なる大災害と向き合った中で石油販売業界において「必要不可欠」と言えるのが「物流の安定確保」ではないか。必要な物資を必要な場所へ運ぶことの困難さを克ローリーの手配が困難だったことが指摘されている。

かつて過競争や長期化するデフレ経済により、経営環境が悪化する。現実に昨年から石油製品の運賃は段階的に値上がりするなどして言えないのが石油製品。危が急務だ。

物流こそSSの生命線

台風15号の直撃で首都圏は混乱した。中でも千葉県では長期にわたる停電が人々の暮らしに影響し、その暮らしをなんとか支えようと懸命の努力を続けたSSの姿が印象に残る。たび重なる大災害と向き合った中で石油販売業界において「必要不可欠」と言えるのが「物流の安定確保」ではないか。必要な物資を必要な場所へ運ぶことの困難さを克ローリーの手配が困難だったことが指摘されている。

かつて過競争や長期化するデフレ経済により、経営環境が悪化する。現実に昨年から石油製品の運賃は段階的に値上がりするなどして言えないのが石油製品。危が急務だ。

ぜんせき

THE ZENSEKI

第8000号 月・水・金発行(祝日除く) 組合員 月1,728円(消費税込)

9月27日 2019年(令和元年)

発行所 全国石油商業組合連合会 東京都千代田区永田町2-17-14 電話 03-3593-5751 http://www.zensekiren.or.jp

ぜんせきweb版 登録受付け中!
新規のご登録の手続きは下記ウェブサイトでできます
<http://zensekiweb.com>

結束し安全荷卸

11月から全ト協と統一キヤンペ
全国理事長会



全石連は先づく、全国理事長会を開き(写真)、全日本トラン

協会から関係者が出席し、11月1日から始ま

る「荷卸し時の安全対

策統一キヤンペーン」

の内容を説明し、各石

油商へ理解と協力を求め

た。

全協は同キャンペー

ーンで2007年以降、全石連石油連盟

は、「荷卸し時の安全対策統一キヤンペーン」を立てる、

として取り組んでいる

こと、消防当局の協力

も得て、キヤンペーン

一層の安全対策の向上

を目指していることを

説明、「納品書・タン

ク在庫量・注入口・荷

卸後での在庫の4点の

を目標としていることを

確認を徹底してもらひ

たい」と強調した。

報告書ではガソリン

販売のカード支払いと

ともに危険物荷卸し

の実施を通じ、元売、

輸送、販売業者の関係

業者が一体となって、

一層の安全対策の向上

を目標としていることを

確認を徹底してもらひ

たい」と強調した。

月販売が100キロ

程度になると、カード比率が高まれば

消費増税とキャッシュレス

化などに対する石油商業界の課題などについて検討した。喜多村部会長(写真)は「消費増税に際しては便乗価上げのそりを受けないことが大事」と強調し、4項目の留意点を挙げ組合員へ万全の備えを促した。また、組合員に経営状況把握の一助となるよう自社データを打ち込み消費税増税に伴う手数料増加分を試算できるフォームをぜんせきWeb上で公開することを決めた。

消費増税
前

「便乗価上げ」そり受けぬよう

喜多村部会長(喜多村利秀部会長)は19日、会合を開き、消費増税とキャッシュレス化などに対する石油商業界の課題などについて検討した。喜多村部会長(写真)は「消費増税に際しては便乗価上げのそりを受けないことが大事」と強調し、4項目の留意点を挙げ組合員へ万全の備えを促した。また、組合員に経営状況把握の一助となるよう自社データを打ち込み消費税増税に伴う手数料増加分を試算できるフォームをぜんせきWeb上で公開することを決めた。

同会では、事前に開いたマーケット変化に関する報告書をもとに、議論が進められ、10月1日以降、クレジット会員部会長(佐藤・電井亮介雄座長・ヤン・シユレス化推進に伴うSS経営へのマイナス影響について)がまとめて「消費増税&キャッシュレス化推進に伴うSSで起こる可能性がナスカム」について公開することを決めた。

会員部会長は消費増税に伴う石油販売業界の心構えとして「増額の負担を回避する方法がないことを指摘して

おり。この1年も石油産業は再投資できる体質にならなければならぬ」と強調した。

同会では、消費増税に伴う石油販売業界の心構えとして「増額の負担を回避する方法がないことを指摘して

おり。この1年も石油産業は再投資できる体質にならなければならぬ」と強調した。

同会では、消費増税に伴う石油販売業界

キュー太郎
浜坂高一郎



世界の三大ガソリン計量機メーカー
TATSUNO



石油連盟と日本ガス
催された(写真)。同
石商の浜田忠博理事長
をはじめ組合員や石油
機器メーカー関係者ら
約80人が参加。今年は
基調講演の時間を短縮
して組合員とメーカー
の親睦を図る狙い
がついた。

合同会議を開いた。浜田支部長(写真)は北九州豪雨や台風15号など多発した災害への対応を踏まえ「満タン運動」の重要性がますます高まってきたとの認識を示す一方、消費増税が迫る中で起きたサウジアラビアの石油施設攻撃による市場への影響を心配した。

台風15号被災体験踏まえ

活動の重要性再認識



「停電の長期化などが想定外のことが多かったが、しっかりと検証し今後の災害対応に生かしたい」と強調した。

同会では、千葉石商の安藤順夫理事長が台風の被害状況を報告。

「停電でFAXや電話が通りず、組合員の状況確認が難しかった。

携帯会社から中継基地の非常用発電機へのガソリン給油の要請を受け、店頭販売1日200㍑の上限を一時的に解除するよう工務店へ通じ消防庁に働きかけたと説明したうえで

ソリューションズ情報開発部長

【高松】全石連四国支部長天野博司

は20日、高松市内で青

年部会を開催し、

三村尚みどり未来ハ

トナーズ情報開発部長

を行った。

また、石油連盟報

奄美の浜郁郎氏を

最高の出展、来場規模

行委員会を開き、過去

年会見本市実

を行った。

まことに注目し、専

門家意見を紹介しな

がこのほど、

新潟県石油セミナー

がこのほど、

新潟市内で開

催された(写真)。同

石油連盟と日本ガス

開会に先立ちあいさ

難することもできる

とした浜田理事長は、

と、「満タン&灯

油」の運送をもたら

し、新潟石商と全石連

が後援する「新潟県石

油セミナー・機器メー

カ・商品説明交流会」

後に気温が急上昇し

セミナーでは、石連

が取り組む自治体への

石油・石油機器利用の

中心的指導者ではな

がら、犯人はイランの

中央的情報を紹介しな

がこのほど、

新潟県石油セミナー

最新事情巡り情報交換



DATA/コーナー			
■石油先物市場・9/25	△値上げ、▲値下げ△ストップ高、◆ストップ安、単位：円/KL	中京石油市場	
△京浜海上：1枚=50KL	（伊勢湾石油槽所：1枚=20KL）		
16:30現在	前日比	前日比	
ガソリン			
①銀月	59,020	▲780	
②銀月	56,300	0	
③銀月	55,300	▲500	
④銀月	55,300	0	
⑤銀月	54,800	0	
⑥銀月	53,300	▲1,000	
（前日出来高81枚）			
灯油			
①銀月	60,880	▲620	
②銀月	60,500	▲500	
③銀月	60,500	0	
④銀月	61,000	0	
⑤銀月	60,640	0	
（前日出来高64枚）			
軽油			
①銀月	62,500	▲620	
②銀月	62,500	▲500	
③銀月	62,200	0	
④銀月	61,900	0	
⑤銀月	61,600	0	
（前日出来高10枚）			
原油指標			
国内	\$/B	63.75(▲0.21)	
指標	¥/KL	43,347(▲380)	
WTI	\$/B	57.29(▲1.35)	
	¥/KL	38,958(▲1,132)	

設が攻撃された問題に

言及。アメリカがイラ

クネイランとアメリカ

の意見交換を行い、灯

油戦争を万全の体制で

見せた直後の攻撃で

見せた。あることに注目し、専

門家の意見を紹介しな

がら、犯人はイランの

中央的情報者ではな

いと、その結果

トニガオリジナル

足こぎ式

「ぜんせき」お客様版 vol. 222

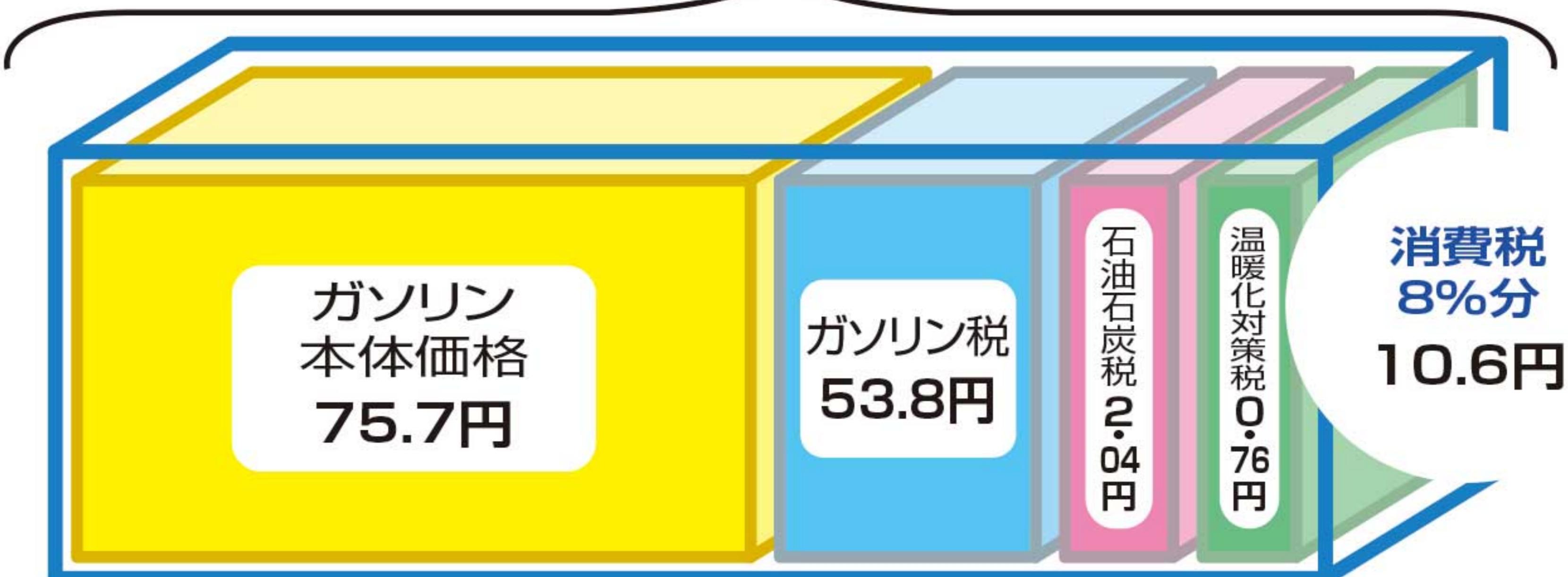
SSからお客様へ

2019年
9月号

これが9月ガソリン価格の内訳

(本体価格+税金) × 消費税率 = 小売価格

$$132.3\text{円} \times 1.08 = 143\text{円}$$



ガソリン高の要因は税金!!

今の税金分

1㍑あたり 67円超

さらに

消費税10%(19年10月予定)で、

69円超 小売価格
143円の場合

価格の話 高額な石油諸税にご理解を

レギュラーガソリン価格と税金比率の推移

(単位:円)

年月	ガソリン価格	本体価格	石油諸税	消費税	税金	税金比率
2019年1月	143.0	75.8	56.6	10.6	67.2	47.0%
2月	143.3	76.0	56.6	10.6	67.2	46.9%
3月	145.2	77.9	56.6	10.8	67.4	46.4%
4月	147.0	79.5	56.6	10.9	67.5	45.9%
5月	150.2	82.5	56.6	11.1	67.7	45.1%
6月	147.9	80.3	56.6	11.0	67.6	45.7%
7月	145.7	78.3	56.6	10.8	67.4	46.3%
8月	144.6	77.3	56.6	10.7	67.3	46.5%
9月2日	143.2	76.0	56.6	10.6	67.2	46.9%
9月9日	143.0	75.8	56.6	10.6	67.2	47.0%
9月17日	142.9	75.7	56.6	10.6	67.2	47.0%

消費税がいよいよ来月1日から8%から10%に引き上げられます。ガソリンには高額な石油諸税が課せられており、ガソリンに占める税金の割合も増大します。資源エネルギー庁による週次小売価格調査の8月平均値(消費税込み)で、レギュラーガソリンの全国平均値は、前月比1.1円安の144.6円となりました。このうち税金額は消費税まで含め87.3円、税金比率は46.5%となります。例えばこれが消費税10%になると69.7円となり、48.2%に達します。

ガソリンには本体価格(原油価格+精製・販売コストなど)に、石油諸税としてガソリン税が53.8円(本則税率=28.7円、暫定税率=25.1円)、石油石炭税2.04円に地球温暖化対策税0.76円が上乗せされています。さらに本体価格と石油諸税の合計金額に、タックス・オン・タックスという税金に税金が上乗せされる形で消費税8%がかけられています。10月からは10%に引き上げられることで、このタックス・オン・タックスが増大します。

ガソリンの本体価格は原油価格や為替によって変動しますが、ガソリンにかけられている石油諸税は56.6円でロックされているため、原油価格が上昇して、ガソリン本体価格が直上がりすると、石油諸税の割合は低くなり、石油諸税が値下がりしているように見え、高額な石油諸税が目立たなくなってしまう傾向が現れます。多重・多段階にわたる高額な石油諸税の実態をご理解をお願いします。

全国のガソリン価格の推移

(すべて税込価格、単位:円/L)

	2010年8月	2014年8月	2018年8月	2019年7月	2019年8月		2010年8月	2014年8月	2018年8月	2019年7月	2019年8月	
北海道	136	167	152	144	142		滋賀	130	171	151	143	139
青森	131	167	149	144	142		京都	135	171	154	149	148
岩手	132	168	150	142	141		大阪	133	168	152	144	142
宮城	132	167	150	140	140		奈良	134	170	151	144	142
福島	132	169	153	147	146		和歌山	134	172	151	143	143
秋田	133	167	151	147	146		兵庫	135	168	151	145	144
山形	134	170	154	149	148		岡山	131	165	149	145	143
新潟	134	169	151	144	143		広島	133	168	151	144	144
長野	135	172	156	152	151		鳥取	138	168	149	142	142
群馬	130	168	151	144	142		鳥根	140	171	154	148	147
栃木	132	168	150	144	142		山口	135	168	151	144	142
茨城	131	166	149	141	141		徳島	133	168	146	145	144
千葉	131	166	149	142	141		高知	138	168	154	152	152
埼玉	130	165	148	140	139		愛媛	135	170	154	149	147
東京	134	170	153	145	144		香川	132	168	150	145	144
神奈川	131	167	150	142	141		福岡	136	170	153	147	147
静岡	134	171	152	146	145		大分	137	173	158	153	152
山梨	133	170	153	147	147		佐賀	138	173	157	151	150
愛知	133	168	150	142	141		長崎	140	174	162	158	156
三重	134	169	152	145	144		熊本	135	170	154	147	146
岐阜	135	172	153	147	145		宮崎	134	170	152	149	148
富山	133	171	152	144	142		鹿児島	140	177	158	154	154
石川	132	169	150	141	140		沖縄	131	168	159	152	152
福井	132	171	152	145	144		全国平均	134	169	152	146	145

SSから消費者の皆さまへのメッセージ

石油増税は絶対に反対です！